

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	倉敷福祉工業
住 所	倉敷市連島中央5-27-25
電話番号	086-444-0500

事業所番号	3310201706
管理者名	馬場 孝臣
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所：倉敷市連島中央4-14-2
 実施日程：令和6年4月1日～令和7年3月31日
 実施した生産活動・施設外就労の概要
 ウエスの製造、梱包作業
 軍手の仕上作業
 利用者数 2名

<活動の様子>

ウエスの裁断作業



軍手の結束作業



<目的>

地元企業と連携することにより、安定した作業を受注でき、人材不足となっている企業にもメリットを生み出す。

<成果>

常時安定した作業があるため、仕事量の心配が減った。課題点としては、作業能力、出来高の向上が目標には届かなかった。

連携先の企業等の意見または評価

なかなか従業員が集まらなかつたが、施設外就労によって安定した生産量を期待できるようになった。今後は、生産量を増やしていきたいので、対応できるように期待している。

連携先企業名

担当者名

利用者の知識・能力の向上に向けた取組報告書

事業所名	倉敷福祉工業
住所	倉敷市連島中央5-27-25
電話番号	086-444-0500

事業所番号	3310201706
管理者名	馬場 孝臣
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力の向上に向けた取組の概要

<p>＜活動内容＞</p> <p>活動場所：倉敷市連島中央5-27-25 実施日程：令和6年5月24日 見学者：先生2名、生徒4名 実施した活動 通信制高校サポート施設からの作業見学において、利用者を主体に、軍手仕上げ作業・縫製作業の説明、実演を行った。</p>	<p>＜活動の様子＞</p> <p>軍手仕上げ作業</p>  <p>縫製作業</p> 
<p>＜目的＞</p> <p>普段行っている作業の説明や実演を、利用者が行う事により、注意点の再確認や、本人の意識を高めることを目的とした。また、他者とのコミュニケーションを図ることで、一般就労に向けた訓練につなげることを目的とした。</p>	
<p>＜成果＞</p> <p>はじめて作業をする生徒に、作業内容を説明し、手本を見せてることで、生き生きとしていた。見学終了後も、意欲的に作業に取組めるようになり、自信を持って作業ができるようになった。事業所以外の人とのコミュニケーションを取ることで、社会参加の意識も高まったように感じた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

見学に来た生徒たちも、実際に作業体験ができ、とても記憶に残って楽しむことができた。

来年も実施して、作業体験をさせてもらいたいと言ってもらうことができた。

連携先企業（担当者）

利用者からの意見・評価

いつも行っている作業を、初めて会う人に教えたことがなかったので緊張したが、作業に自信を持つことができた。

自分（利用者）にも、難しい仕事ができているのだと実感して、仕事が楽しくなった。

また機会があれば、人に教えてあげたいと思った。